



「ユリ図譜」 Monograph of the Genus Lilium
エルウェス著 H.J.Elwes イギリス 1880刊より「ヤマユリの図」

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 馨 発行所/名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東横2-18-13 tel.052-601-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

2020年6月号

名古屋園芸



ライム & ホワイト



溢れるハート アンズリウム



① オシャレな陶器鉢に植え込めばより高級感が
増します。白の陶器鉢なのでどのインテリアに
も合う、小ぶりのミニサイズのあそこにも飾り
やすいアンズリウムです！

最近はお家で過ごす時間が長くなり、この機会に何か新しいことを始めたい！と考えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？
こんな今こそ「普段は花を育てたことはない」という方はもちろん、「育てたことはあるけどすぐ枯らしてしまっから！」という方にこそぜひ育てていただきたい！とたくくカタンに育てられるアンズリウムをご紹介します。

管理は非常に簡単で、レースのカーテン越しの柔らかい光の当たるところに置き、土が乾いたら下からお水が出るまであげ（受皿にたまった水は必ず捨ててください）、春から秋にかけて置いておくタイプの肥料をあげるだけ！
さて、今回はお家時間を楽しくする場所をとらないミニサイズが愛らしい「アンズリウム ミリオンフラワーズレッド」をご紹介します。
通常アンズリウムは6号サイズ（直径約18cm）以上で株が充実し、花付きが良くなるものですが、この品種は3.5号サイズ（10.5号）という小さいサイズにも関わらずたくさん分枝し、花付きがとても良いということでアンズリウムのプロ生産者さんはもちろん、世界で話題となっている品種です！まるで小さな

ハートが溢れるように咲くので見ているだけで心が和らぐ、まさに今飾るにはぴったりな植物です！！
名古屋園芸では5月後半〜6月にかけて店頭にも多くのアンズリウムが並びます。
特に品種数の多い6号鉢のアンズリウムは、常時約30品種栽培し、新品種も積極的に取り入れている愛知県西尾市の小松園芸さんから仕入れていきます。
赤色のイメージが強いアンズリウムですが、実はピンク、白、緑、紫など色も充実しているので、今の気分がぴったりなアンズリウムをお家時間のお供にいかがでしょうか？



② ハート型のつやつやがとても魅力的なアンズリウム。ちょっと淡いオレンジ色も愛らしいですよ！輪の色の变化も楽しんでみてください！



③ 小ぶりの紫色のアンズリウムはとても落ち着きがあるのでモダンなお部屋にぴったりです！落ち着いた紫色のアンズリウムで心も落ち着かせてみてはいかがでしょうか？



④ アンズリウムといえば赤!! 真っ赤な色から元気がもらえますよ！
6号サイズ ¥3,000+税、7号サイズ ¥5,000+税、8号サイズ ¥8,000+税、10号サイズ ¥10,000+税 での用意となります。
*仕入れ状況によりご用意できない場合もございます。

information

竹展 6/6 (土) ~ 7/12 (日)



古来より日用品や工芸品、建材や食品としても人々の暮らしに寄り添ってきた竹。お正月の縁起物、そして観葉植物としても親しまれてきました。竹の変種には目を疑うようなユニークな形状や、幹の色柄を楽しむことができます。名古屋園芸のバイヤーが集めた竹の銘品の数々を、展示即売いたします。近年では栽培が極めて少ないため希少価値が高く、良品の入手が困難なため、大変貴重な品種もご覧いただけるかもしれません。七夕前のこの時期、ぜひご来店ください。
*展示会の日程は予告なく変更する場合がございます。ご了承くださいませ。

◇TV出演情報 小笠原左衛門尉亮軒
NHK 趣味の園芸 (Eテレ)
「万葉の花・ユリ」
*放送: 6月14日 (日) 午前8:30~8:55
*再放送: 6月16日 (火) 午前10:25~10:50
6月18日 (木) 午後0:30~0:50



花の博物館 第293回

駒場薬園百合図巻 一巻 卷子装 写本
紅筋

栗本瑞見著 文政九丙戌(ひのとい・一八二六)編成
小笠原左衛門尉亮軒

著者栗本瑞見は、名を昌富、五代目瑞見を名乗る。華府医師、嘉永元年(一八四八)没。駒場薬園は幕府の薬草園、この園にて三百種以上の薬草が栽培管理されていたが、こうした主として觀賞用に供された植物も栽培されていたことである。
記載品種は、白早山丹花(ササユリ)紅筋(ヤマユリの園芸品種)平戸(ヒラトユリ)他二十種都合二十三種の百合図譜である。園芸品種として、前記、紅筋、の他、鹿の子百合の白花品種、峰の雪、や、紅通百合の八重咲品種、鳳凰閣、鉄砲百合の葉が白覆輪種、高砂、などがある。
余談ではあるが、江戸時代のユリ図譜では、高砂は鉄砲百合の葉の白覆輪種を指す。(現在、長太郎鉄砲百合、と思われる。)明治に台湾から導入された、リリウム・フォニーモサナムを、高砂子百合、と称し、現在中部地方では野生化して草地で夏〜秋によく見かけることがある。
*本書は私が園芸の道へ入った最初の師で、愛知県清洲園芸試験場に勤務されていた清水基夫先生の旧蔵書であり、先生逝去のあと、ご子息から、小笠原君へ譲るようごとの遺言であった由にて、ご持参くださった数点の内の一書である。